

新村秀一先生 略歴および著作目録

略 歴

学 歴

- 1948 (昭和23) 年4月 富山県富山市小島町生まれ
 1967 (昭和42) 年3月 富山県立富山中部高校卒業
 1967 (昭和42) 年4月 京都大学理学部入学
 1971 (昭和46) 年3月 京都大学理学部数学科卒業
 2000 (平成12) 年3月 岡山大学より理学博士 (論文)

職 歴

- 1971 (昭和46) 年4月 住商コンピュータサービス株式会社入社
 ・OR学会, フェロー
 ・ISI Elected Member
- 1995 (平成7) 年10月 日本計算機統計学会大会長
- 1996 (平成8) 年3月 住商情報システム株式会社退社
- 1996 (平成8) 年4月 成蹊大学経済学部教授
- 2003 (平成15) 年4月～2004 (平成16) 年3月
 オーストリアIIASA (国連の研究機関でハプスブルグ家の夏の離宮)
 で在外研究
- 2005 (平成17) 年4月～2008 (平成20) 年3月
 経営学研究科長
- 2014 (平成26) 年4月 成蹊大学特別任用教授 (経済学部)
- 2017 (平成29) 年3月 成蹊大学特別任用教授退任 (経済学部)
- 2017 (平成29) 年6月 成蹊大学名誉教授

学会および社会における活動など

- 1971 (昭和46) 4月～1979 (昭和54) 3月：大阪府立成人病センターで心電図の自動診断システムのプロジェクトに参加し心電図の診断論理の研究に従事。統計的判別分析が医学診断に適していないため、Fisher以後の新しい判別分析の理論を完成し、2016年末にSpringerより出版。重要な応用研究は、30年以上医学や統計研究者が成功していない

「癌の遺伝子診断」を、数理計画法を用いた誤分類数最小化基準（MNM）による線形判別関数（LDF）で僅か54日で成功。このことは、判別分析にMNM基準が適切であり、FisherのLDFの分散比最大化基準やSVMのSV距離の最大化が遺伝子診断に適していないことを示している

上記期間の1975年までが会社の仕事であり、1975年以降は黙認されたいわゆる Under Table 研究である

1971（昭和46）4月～1984（昭和59）3月：大阪府立成人病センターの疫学部で、癌の疫学データの研究を鈴木医師等と行う。この間、厚生省の癌の疫学研究（梅垣班）の研究プロジェクトに参加

1977（昭和52）～1981（昭和56）：日本医科大学産婦人科鈴木教授のグループとCPDに関する研究

1979（昭和54）～1984（昭和59）河村博士、三宅日本医科大学数学科教授と耳鼻咽喉の共同研究

1983（昭和58）以降、日本医科大学で、丸山千里先生らとSSMの効果判定の研究で「術後1年を4期間に分け、術後3か月以内に早期投与した患者が、9か月から12か月と遅く投与した患者に比べて、予後が長くなることを帰無仮説モデルで検証し発表。その後、カルテ情報から、長期生存者の分析を行うが成功していない。上記の癌の遺伝子解析で、データが取れば5年生存率の極枯から患者が解放されることが簡単に解明できると考えている

1980（昭和55）～1996（平成8）年3月まで（この期間は、正規の仕事である）

- ・統計ソフトのSASの日本における計算サービスの開始
- ・シカゴ大学のビジネススクールのShrage教授を訪問し、数理計画法ソフトのLINDOの代理店を獲得。以降今日に至るまで、MNM基準による判別分析の良き研究のアドバイスを得ている
- ・統計ソフトのSASの企業と大学への普及：製薬企業32社にVAX/SASと第4層臨床試験ソフトのシステム販売。東洋信託銀行(株)へ、VAX/SASと数理計画法ソフトのLINDO等の数億円の投資分析システムの納入
- ・シカゴ大学ビジネススクールで開発された数理計画法ソフトのLINDOの普及
- ・第2世代のAI（KE）のPC版米国Exsys社を買収するが、2か月後にAIブームが終了。現在、第2世代のAIソフトで生き残っている稀有のソフト。僅か数万円のExsysに対し、数千万円の高額なソフトを導入した日本の多くの企業がいたことを記憶し、歴史から学ぶ理性と知性が必要である
- ・RealTimeOSのVX/Worksの代理店

- ・英国NAG社の数値計算ソフトの代理店。英国大使を主賓にホテルオオクラで代理店のお披露目。近藤次郎元学術会議議長（東大工学部名誉教授）の講演を企画
- ・米国Speakesy社の数学ソフトの代理店
等、理数系ソフトを「学術パック」のブランドで大学と企業に解説書や論文の執筆と講習会を含め販売普及

1995（平成7）～1996（平成8）年3月まで

- ・厚生省の担当者の依頼で、初期「介護保険システム」の私的アドバイザー。決定木分析を利用することの提案を行う

1995（平成7）10月に両国の住商情報システム(株)で、日本計算機統計学会の大会長を務める。「介護保険システム」の初期版の研究発表を開発者に依頼。初日に某大学の経営学部長より同学部に応募しないよう諭される。2日目に成蹊大学経済学部の採用を通知される

2010（平成22）～2013（平成25）年

- ・大学入試センターの研究部門より、大学生に対して実施した大学入試試験データの全科目の3年間のデータを借り受け、試験の合否判定の判別分析を行う。1年以上の分析を終えて発表の準備を行ったが、入試問題の配布ミスが民社党などに取り上げられ社会的に問題になり、管理部門が調査した結果「試験データをアルバイトに応じた大学生に外部に公表しないということをやっていること」が指摘され、研究部門より投稿中の論文3編取り下げを要請された。2年間の研究が全く無駄に期した

朝日新聞『大学ランキング』のメディアへの情報発信度ランキング（自然科学部門）

- 2001年度（期間：1995～1999）：9位
- 2002年度（期間：1996～2000）：4位
- 2003年度（期間：1996～2001）：5位
- 2004年度以降はフォローしていないので不明

研究者DB

- ・Research Gate：判別分析と遺伝子解析の主として英語論文を登録。単にPDFをUPするだけで、Read数や引用文献数、閲覧者が分かり、研究成果の自己評価ができて便利である。またCoxやStamなどの研究に取り上げている研究者が閲覧していることが分かることや、Fisherの古い論文が自分の論文に追加され、研究に非常に有用である
- ・Research Map：漏れもあるが、全論文の登録

著作目録

重要な文献のリスト

判別分析の新理論と医学者や統計学者が30年以上かけて解決できなかった「癌の遺伝子解析」が私の一生の研究テーマであり、それを以下に示す。他の文献は、この研究のための補助線である。成蹊論集は、半年以内の最新の研究成果の最初の一報であり、私にとっての研究ノートである。統計ソフトのSASとJMP、数理計画法ソフトのWhat'sBest!とLINGOで膨大な実証研究を行うことで、30年以上統計手法で研究されて成功していない研究が簡単に54日で解決できた。

Shinmura, S (2017予定) From Cancer Gene Analysis to Cancer Gene Diagnosis, 出版社交渉中.

Shinmura, S (2016) *New Theory of Discriminant Analysis after R. Fisher – Advanced Research by the Feature-Selection Method for Microarray Data –*, Springer.

新村秀一 (2011) 『数理計画法による問題解決法』, 日科技連.

新村秀一 (2010) 『最適線形判別関数』, 日科技連. (成蹊大学出版助成)

新村秀一 (2007) 『JMPによる統計レポート作成法』, 丸善.

新村秀一 (2004) 『JMP活用 統計学とっておき勉強法』, 講談社.

新村秀一 (2007) 「数理計画法による判別分析の10年」, 『計算機統計学』20 (1/2), pp.53-94.

新村秀一 (2006) 「SVMのアルゴリズムの秘密」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』20, pp.133-136.

新村秀一 (2002) 「IP-OLDFによる最適凸体の内点の探索：アルゴリズムの改善」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』16, pp.87-90.

新村秀一, 垂水共之 (1999) 「2変量正規乱数データによるIP-OLDFの評価」, 『計算機統計学』12/2, pp.107-123.

新村秀一 (1999) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数」, 『計算機統計学』11/2, pp.89-101.

新村秀一 (1991) 「DSS (意思決定支援システム) の4つのエンドユーザー言語ーダウンサイジング時代のアプリケーション開発ー」, 『日経コンピュータ』11/4, pp.171-186.

三宅章彦, 新村秀一 (1980) 「最適線形判別関数のアルゴリズムとその応用」, 『医用電子と生体工学』18/1, pp.15-20.

新村秀一 (1984) 「医療データ解析, モデル主義, そしてOR」, 『オペレーションズ・リサーチ』29/7, pp.415-421.

野村裕, 宮川定吉, 若杉茂俊, 戸山靖一, 新村秀一 (1976) 「臨床時系列データの解析」, 『医用電子と生体工学』14/3, pp.207-213.

新村秀一, 北川護, 野村裕 (1974) 「スペクトル診断 (第二報)」, 『第13回日本ME学会大会論文集』, pp.414-415.

新村秀一, 北川護, 高木義人, 野村裕 (1973) 「二段階重みづけによるスペクトル診断」, 『第12回日本ME学会大会論文集』, pp.107-108.

著 書

Shinmura, S (2017 予定) From Cancer Gene Analysis to Cancer Gene Diagnosis, 出版社交渉中.

Shinmura, S (2016) *New Theory of Discriminant Analysis after R. Fisher – Advanced Research by the Feature-Selection Method for Microarray Data –*, Springer.

新村秀一 (2011) 『数理計画法による問題解決法』, 日科技連.

新村秀一 (2010) 『最適線形判別関数』, 日科技連. (成蹊大学出版助成)

新村秀一 (2007) 『ExcelとLINGOで学ぶ数理計画法』, 丸善.

新村秀一 (2007) 『JMPによる統計レポート作成法』, 丸善.

新村秀一 (2004) 『JMP活用 統計学とおき勉強法』, 講談社.

新村秀一 (レビューと校正) (2004) 『JMPを用いた統計およびデータ分析入門』, SAS Japan.

Sall, J. Creighton, L. and Lehman, A. (1999) *JMP Start Statistics*, SAS Institute.

新村秀一 (分担執筆) (2004) 『マルチメディア統計百科事典』, 文部省共同利用機関メディア教育開発センター.

新村秀一 (2002) 『3日でわかる・使える統計学』, 講談社.

新村秀一 (分担執筆) (1999) 『経営科学OR用語大事典』, 朝倉書店.

新村秀一 (1999) 『パソコンらくらく数学』, 講談社.

新村秀一 (1997) 『パソコン楽々統計学』, 講談社.

新村秀一 (1995) 『パソコンによるデータ解析』, 講談社.

新村秀一 (1994) 『SAS言語入門』, 丸善.

新村秀一 (1994) 『SPSS for Windows入門』, 丸善.

新村秀一 (1993) 『意思決定支援システムの鍵』, 講談社.

Schrage, L. (新村秀一・高森寛訳) (1992) 『実践数理計画法』, 朝倉書店.

Schrage, L. (1991) *LINDO-An Optimization Modeling System-*, The Scientific Press, Fourth edition.

Sall, J. (新村訳) (1986) 『SASによる回帰分析の実践』, 朝倉書店.

Schrage, L. (青沼龍雄・新村秀一訳) (1990) 『GINOによるモデリングと最適化』, 共立出版.

新村秀一 (1989) 『易しく実践データ解析の進め方』, 共立出版.

新村秀一・高森寛 (1987) 『統計処理エッセンシャル』, 丸善.

森村・牧野他編（分担執筆）（1984）『統計・OR活用事典』，東京書籍。
OR学会編（分担執筆）（1983）『OR事例集』，日科技連。

学術論文（英文）

- Shinmura, S (2017a) “Cancer Gene Analysis using Small Matryoshka (SM) found by Matryoshka Feature Selection Method”, *Biotechno2017*: pp.1-9.
- Shinmura, S (2017b) “Cancer Gene Analysis by Singh et al. Microarray Data”, *ISI 2017 MARRAKECH*: pp.1-6.
- Shinmura, S (2017c) “Validation of Matroska Feature Selection Method for Microarray Data by LINGO Program 1 using Japanese Automobile and Swiss Banknote Data”, *IARIA (Biotechno Best Paper Award Revised Paper)*:1-21
- Shinmura, S (2016a) “Matroska Feature Selection Method for Microarray Data”, *Biotechno 2016*: pp.1-8. (Best Paper Award)
- Shinmura, S (2016b) “The Best Model of Swiss banknote data. Statistics”, *Optimization and Information Computing*, 4: pp.118-131. (doi: 10.19139/soic.v4i2.178 ISSN 2310-5070 (online) ISSN 2311-004X (print))
- Shinmura, S (2016c) “Discriminant Analysis of the Linear Separable Data – Japanese 44 Cars –”, *Journal of Statistical Science and Application* 4(7-8): pp.165-178. (doi: 10.17265/2328-224X/2016.0708.001)
- Shinmura, S (2016d) “The Discriminant Analysis of the Iris Data by New Theory”, *Data Analytics*16: pp.1-8.
- Shinmura, S (2015a) “The 95% confidence intervals of error rates and discriminant coefficients”, *Statistics, Optimization and Information Computing*, 2: pp.66-78.
- Shinmura, S (2015b) “A Trivial Linear Discriminant Function”, *Statistics, Optimization, and Information Computing*, 3: pp.322-335. (DOI: 10.19139/soic.20151202)
- Shinmura, S (2015c) “Four Serious Problems and New Facts of the Discriminant Analysis”, In: Pinson E, Valente F, Vitoriano B (ed) *Operations Research and Enterprise Systems*: pp.15-30. Springer, Berlin (ISSN: 1865-0929, ISBN: 978-3-319-17508-9, DOI: 10.1007/978-3-319-17509-6)
- Shinmura, S (2015d) “Four Problems of the Discriminant Analysis”, *ISI 2015*: pp.1-6.
- Shinmura, S (2015e) “The Discrimination of microarray data (Ver. 1)”, *Research Gate* (1): pp.1-4.
- Shinmura, S (2015f) “Feature Selection of three Microarray data”, *Research Gate* (2): pp.1-7.
- Shinmura, S (2015g) “Feature Selection of Microarray Data (3) – Shipp et al. Microarray Data”, *Research Gate* (3): pp.1-11.

- Shinmura, S (2015h) “Validation of Feature Selection (4) – Alon et al. Microarray Data”, Research Gate (4): pp.1-11.
- Shinmura, S (2015i) “Repeated Feature Selection Method for Microarray Data (5) ”, Research Gate (5): pp.1-12.
- Shinmura, S (2015j) “Comparison Fisher’s LDF by JMP and Revised IP-OLDF by LINGO for Microarray Data (6) ”, Research Gate (6): pp.1-10.
- Shinmura, S (2015k) “Matroska Trap of Feature Selection Method (7) – Golub et al. Microarray Data –”, Research Gate (7): pp.1-14.
- Shinmura, S (2015l) “Minimum Sets of Genes of Golub et al. Microarray Data (8) ”, Research Gate (8): pp.1-12.
- Shinmura, S (2015m) “Complete Lists of Small Matroska in Shipp et al. Microarray Data (9) ”, Research Gate (9): pp.1-81.
- Shinmura, S (2015n) “Sixty-nine Small Matroska in Golub et al. Microarray Data (10) ”, Research Gate: pp.1-58.
- Shinmura, S (2015o) “Simple Structure of Alon et al. et al. Microarray Data (11) ”, Research Gate (11): pp.1-34.
- Shinmura, S (2015p) “Feature Selection of Singh et al. Microarray Data (12) ”, Research Gate (12): pp.1-89.
- Shinmura, S (2015q) “Final List of Small Matroska in Tian et al. Microarray Data”, Research Gate (13): pp.1-160.
- Shinmura, S (2015r) “Final List of Small Matroska in Chiaretti et al. Microarray Data”, Research Gate (14): pp.1-16.
- Shinmura, S (2015s) “Matroska Feature Selection Method for Microarray Data”, Research Gate (15): pp.1-16.
- Shinmura, S (2015t) “The 100-fold cross validation for small sample method”, CMStatistics: pp.1.
- Shinmura, S (2014a) “End of Discriminant Functions based on Variance Covariance Matrices”, ICORES, pp.5-16.
- Shinmura, S (2014b) “Improvement of CPU time of Linear Discriminant Functions based on MNM criterion by IP”, Statistics, Optimization and Information Computing, vol. 2, pp 114-129.
- Shinmura, S (2014c) “Comparison of Linear Discriminant Functions by K-fold Cross Validation”, Data Analytic 2014, pp.1-6.
- Shinmura, S (2014d) “Three Serious Problems and New Facts of the Discriminant Analysis”, ICORES 2014, Revised Selected Papers, pp.1-16.

- Shinmura, S (2013a) "Evaluation of Optimal Linear Discriminant Function by 100-fold cross validation", ISI2013 Proceedings, pp.1-6.
- Shinmura, S (2013b) "Evaluation of Optimal Linear Discriminant Function by 100-fold cross validation", Proceedings of EURO2013.
- Ito, Kazunori, Ito Katsuhiko, Shinmura, S. Sakurai, M (2012) "Analysis of Survey Results on Reputation Management : With the Primary Objective of Investigation through Empirical Research", 会計学研究 (小島崇弘先生・渋谷武夫先生退職記念号) 38, pp.21-78.
- Shinmura, S (2012a) "Relationship between the DEA cluster and the lower limit of weights", Proceedings of DEA Symptom 2012 – Celebrating the 100th anniversary of Seikei Gakuen –, pp.63-68.
- Shinmura, S (2012b) "Beyond Fisher's Discriminant Analysis", 2012Informs, pp.50.
- Shinmura, S (2012) "Optimal Linear Discriminant Function based on MNM", 2012ERCIM, pp.119.
- Shinmura, S (2011a) "Beyond Fisher's Linear Discriminant Analysis – New World of Discriminant Analysis –", ISI2011 Proceedings, pp.1-6.
- Shinmura, S (2011b) "Faster algorithm of the optimal linear discriminant function based on MNM criterion using LP", Handbook of OR53, pp.44.
- Shinmura, S (2009) "Practical discriminant analysis by IP-OLDF and IPLP-OLDF", IPSI 2009 Belgrade VIPSI Conference CD-ROM, pp.1-17.
- Shinmura, S (2008) "Problem of discriminant function by IP", Proceedings of IASC, pp.57.
- Shinmura, S (2007a) "Comparison of Revised IP-OLDF and SVM", ISI2007 Proceedings, pp.1-4.
- Shinmura, S (2007b) "Minimum Misclassification Number (MMN) in Discriminant Analysis", The ninth Japan-China Symposium on Statics, pp.271-276.
- Shinmura, S (2007c) "Problem of Discriminant Functions by Mathematical Programming", 2008 IASC, pp.57.
- Shinmura, S (2006a) "Evaluation of integer programming discriminant function by 20,000 cases", Proceedings of EuroXX I 2006, pp.179.
- Shinmura, S (2006b) "External check of 20,000 cases by Integer Programming Discriminant Analysis", Compstat 2006 Book of Abstracts, pp.288.
- Shinmura, S (2006c) "Validation of integer programming linear discriminant function by external check of 20,000 cases", 8th Workshop of the ERCIM Working Group on MATRIX COMPUTATIONS AND STATISTICS, pp.36.
- Shinmura, S (2005a) "New Age of Discriminant Analysis by IP-OLDF using Integer Programming", ISI 2005 CD-ROM.

- Shinmura, S (2005b) “Why nobody uses MP models in the discriminant analysis”, IFORS 2005 CD-ROM.
- Shinmura, S (2005c) “New Age of Discriminant Analysis by IP-OLDF – Beyond Fisher’s Linear Discriminant Function –”, 25th European Meeting of Statistics, pp.191.
- Shinmura, S (2004) “New Algorithm of Discriminant Analysis using Integer Programming”, IPSI 2004 Pescara VIPSI Conference CD-ROM, pp.1-18.
- Shinmura, S (2003a) “Enhanced Algorithm of IP-OLDF”, EURO/INFORMS 2003, pp.50.
- Shinmura, S (2003b) “Enhanced Algorithm of IP-OLDF”, Bulletin of the ISI 54th Session Contributed Paper, pp.428-429.
- Shinmura, S (2002) “Optimal Linear Discriminant Function by Integer Programming”, IFORS 2002, pp.35.
- Shinmura, S (2001a) “Analysis of Effect of SSM on 152,989 Cancer Patients”, ISI 54th Session Contributed Papers Book3, pp.29-30.
- Shinmura, S (2001b) “New Method of Linear Discriminant Function using Integer Programming (IP-OLDF)”, 23rd European Meeting of Statisticians Funchal, August 2001, Contributed Papers-1, pp.373-374.
- Shinmura, S (2000a) “Optimal Linear Discriminant Function using Mathematical Programming”, Okayama Univ. , pp.1-101.
- Shinmura, S (2000b) “A new algorithm of the linear discriminant function using integer programming”, New Trends in Probability and Statistics 5, pp.133-142.
- Shinmura, S. (2000c) “Analysis of Effect of SSM on 150,000 Cancer Patients”, Proceedings of Data Mining Symposium, pp.7-16.
- Shinmura, S and Tarumi, T (2000) “Evaluation of the Optimal Linear Discriminant Function using integer programming by the normal random data”, Proceedings in Computational Statistics 2000 (Wim Jansen and Jelke G. Bethlehem eds.), pp.95-96.
- Shinmura, S (1999a) “Standardization of the Analysis Procedure using Mutual Evaluation Data by Seminar Students”, Proceedings of Applied Stochastics Models and Data Analysis. pp.256-261.
- Shinmura, S (1999b) “A New Step from Data Analysis to Data Science – How can we spread statistical knowledge to our nation in collaboration with statistical software packages and information technologies? –”, Proceedings of 3rd Conference on Statistical Computing at the ARS Conference IASC. pp.301-315.
- Shinmura, S (1999c) “Optimal Linear Discriminant Function(OLDF) using Mathematical Programming”, ISI99 53nd Session Contributed Papers Book3, pp.247-248.

- Shinmura, S (1999c) “How to Decide Proper Regression or Discriminant Models”, Abstracts of SMABS’98, pp.25-26.
- Shinmura, S and Tarumi, T. (1999) “Optimal Linear Discriminant Function using MP”, The 6th Taruto conference on Multivariate Statistics Abstract, pp.49.
- Shinmura, S (1998) “Compact Teaching of Statistical Education Using Graphics in Statistical Software”, In: COMPSTAT 1998 Proceedings in Computational Statistics (ed. R. Payne and P. Lane), pp.203-204.
- Shinmura, S, Suzuki, T, Koyama, H. and Nakanishi, K. (1983) “Standardization of medical data analysis using various discriminant methods on a theme of breast diseases”, MEDINFO 83, J.H. Van Bemmelen, M.J. Ball and O. Wigertz editors, pp.349-352, North-Holland Publishing Company.
- Shinmura, S and Miyake, A. (1979) “Optimal linear discriminant function and their application”, Proceedings of the COMSAC79, pp.167-172.
- Nomura, Y. and Shinmura, S (1978) “Computer assisted prognosis of acute myocardial infarction”, MEDINFO 77, Shires / Wolf, editors IFIP pp.517-521, North Holland Publishing Company.
- Miyake, A. and Shinmura, S (1978) “An algorithm for the optimal linear discriminant function”, Proceedings of the international conference on cybernetics and society, pp.1447-1450.
- Miyake, A. and Shinmura, S (1976) “Error rate of linear discriminant function”, F.T. de Dombal and F.Gremy, editors pp.435-445, North- Holland Publishing Company.
- Shimizu, T, Tsunetoshi, Y, kono, H. and Shinmura, S (1975) “Classification of subjective symptoms of junior high school students effected by photochemical air pollution”, Traslated for NERC-Library,EPA,from the original Japanese by LEO KANCER Associates, P.O.Box 5187 Redwood City, California 94063, Nov,1975(TR 76-213).

学術論文 (和文)

1. 統計関連 (日本計算機統計学会, 応用統計, 日本行動計量学会) 等とパターン認識学会等

- 新村秀一 (2017) 「R. A. Fisher以後の判別分析の新理論と遺伝子解析の新技术法」, 『統計シンポジウム: 統計科学の現代的課題 (金沢大)』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2016a) 「Matroska feature selection method for microarray data」, 『高精度情報抽出のための統計理論・方法論とその応用 (九大)』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2016b) 「判別分析の新理論と遺伝子解析」, 『第9回コンピューテーショナル・インテリジェンス研究会 (千葉大)』, pp.77-84.
- 新村秀一 (2016c) 「判別関数の誤分類確率と判別係数の95%信頼区間」, 『科研費シンポジウム』

- ーム「多様な分野における統計科学の新展開（金沢大）」, pp.1-10.
- 新村秀一（2016d）「A Trivial Linear Discriminant Function」, 『科研費・欠測データ解析とモデル選択（阪大）』, pp.1-10.
- 新村秀一（2014a）「小標本のためのk-重交差検証法（一般セッション3）」, 『日本計算機統計学会大会論文集』28, pp.147-150.
- 新村秀一（2014b）「DEAによる47都道府県の観光業に関する分析」, 『科研費・基盤(A)』（奈良）』, pp.1-10.
- 新村秀一（2014c）「新しい判別分析の世界」, 『科研費・基盤(A)「非対称・非線形統計理論と経済・生体科学への応用」2014年新潟大学：題目「多様な分野における統計科学の教育・理論・応用の新展開」（新潟大）』, pp.1-10.
- 新村秀一（2014d）「判別分析の新世界」, 『第5回コンピューターショナル・インテリジェンス研究会資料, 1-10（CD-ROM）』, pp.1-10.
- 新村秀一（2013a）「分散共分散行列に基づく判別分析の終焉」, 『研費・基盤(A)（課題番号23244011）』, pp.1-10.
- 新村秀一（2013b）「統計教育における判別分析の改善点」, 『統計教育実践研究第5巻—統計数理研究所共同研究レポート293—』, pp.36-45.
- 新村秀一（2013c）「分散共分散行列による判別関数の問題」, 『日本計算機統計学会大会論文集』27, pp.109-112.
- 新村秀一（2013d）「数理計画法による線形判別関数の評価」, 『日本計算機統計学会大会論文集』27, pp.113-116.
- 新村秀一（2013e）「統計教育における判別分析の改善点」, 『統計教育実践研究第5巻—統計数理研究所共同研究レポート293—』, pp.36-45.
- 新村秀一（2012a）「2011年と2012年度の統計入門の分析—2012年度の半舷授業の影響分析からセンター試験の分析—」, 『統計教育実践研究第4巻—統計数理研究所共同研究レポート272—』, pp.36-45.
- 新村秀一（2012b）「統計教育16年の総括」, 『統計教育実践研究第4巻—統計数理研究所共同研究レポート272—』, pp.46-55.
- 新村秀一（2012c）「大学教育における統計家の役割」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』26, pp.63-66.
- 新村秀一（2012d）「2010年と2011年度の統計入門の可否判定の問題点」, 『日本計算機統計学会大会論文集』26, pp.141-144.
- 黒岩亜紀江, 新村秀一（2012）「東京都公立図書館のDEA分析(1)」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』26, pp.71-74.

- 財城真寿美, 新村秀一 (2012) 「環境と科学試験データの合否判定 (Session 5A)」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』 26, pp.59-62.
- 新村秀一 (2011a) 「合否判定データによる判別分析の問題点」, 『「学力試験データの統計解析」特集号ワークショップ』, pp.1-14.
- 新村秀一 (2011b) 「問題解決学としての統計入門」, 『第7回統計教育の方法論ワークショップ—問題解決力育成を目指した統計教育の方法論—』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2011c) 「最適線形判別関数—Fisher以後の新しい判別分析の世界—」, 『筑波大学統計の研究集会』, pp.1-14.
- 新村秀一 (2011d) 「最適線形判別関数—Fisher以後の新しい判別分析の世界—」, 『和歌山大学の研究集会で発表』, pp.1-14.
- 新村秀一 (2011e) 「合否判定データによる判別分析の問題点」, 『応用統計学』 40/3, pp.152-172.
- 新村秀一 (2011f) 「合否判定データによる判別分析の問題点2」, 『「学力試験データの統計解析」特集号ワークショップ』, pp.1-14.
- 新村秀一 (2011g) 「最適線形判別関数による実証研究 (特別セッション 判別分析の新潮流 (1))」, 『行動計量学会第39回大会特別セッション—判別分析の新潮流 (1)—』, pp.419-422.
- 新村秀一 (2011h) 「最適線形判別関数による実証研究 (特別セッション 判別分析の新潮流 (2))」, 『日本行動計量学会大会発表論文抄録集』 39, pp.423-426.
- 新村秀一 (2011i) 「合否判定できない判別分析の問題点」, 『日本計算機統計学会大会論文集』 25, pp.55-58.
- 新村秀一 (2011j) 「問題解決学としての統計入門」, 『第7回統計教育の方法論ワークショップ』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2011k) 「最適線形判別関数—Fisher以後の新しい判別分析の世界—」, 『科研費・基盤 (A)』, (和歌山大), pp.1-14.
- 新村秀一 (2010) 「100重交差検証法による判別関数と改定 IPLP-OLDF の比較」, 『日本計算機統計学会大会論文集』 24, pp.83-86.
- 新村秀一 (2009a) 「判別分析の新モデル選択法」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』 23, pp.83-86.
- 新村秀一 (2009b) 「独立性の検定の問題」, 『日本計算機統計学会大会論文集』 23, pp.169-172.
- 新村秀一 (2009c) 「線形計画法による改訂 IP-OLDF の計算時間の改善」, 『計算機統計学』 22/1, pp.1-22.
- 新村秀一 (2008a) 「LINGOによる改定 IP-OLDF と改定 IPLP-OLDF の比較」, 『日本計算機統

- 計学会大会論文集』22, pp.13-16.
- 新村秀一 (2008b) 「改定IP-OLDFのリサンプリングデータによる評価」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』22, pp.135-138.
- 新村秀一 (2007a) 「数理計画法による判別分析の10年」, 『計算機統計学』20 (1/2), pp.53-94.
- 新村秀一 (2007b) 「SVMの高速なアルゴリズムの提案」, 『日本計算機統計学会大会』21, pp.121-124.
- 新村秀一 (2006a) 「改定IP-OLDFによるIP-OLDFの問題点の解消」, 『計算機統計学』19/1, pp.31-45.
- 新村秀一 (2006b) 「SVMのアルゴリズムの秘密」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』20, pp.133-136.
- 新村秀一 (2006c) 「組み合わせ判別分析の提案：1000スイスフラン偽札紙幣の分析」, 『日本計算機統計学会シンポジウム』18, pp.61-64.
- 新村秀一 (2006d) 「改定IP-OLDFによる2万件データのExternal Check」, 『日本計算機統計学会大会論文集』20, pp.11-14.
- 新村秀一 (2005) 「IP-OLDFの判別分析への新しい貢献」, 『日本計算機統計学会大会論文集』19, pp.21-24.
- 新村秀一 (2004a) 「組み合わせ判別分析の提案：1000スイスフラン偽札紙幣の分析」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』18, pp.87-90.
- 新村秀一 (2004b) 「数理計画法を用いた線形判別関数の新アルゴリズム：計算速度の劇的な改善」, 『計算機統計学』16/2, pp.97-100.
- 新村秀一 (2003a) 「IP-OLDFと決定木分析の比較」, 『計算機統計学』15/1, pp.64-67.
- 新村秀一 (2003b) 「情報化時代における新しい教育一質の高いユーザー教育の提言」, 『計算機統計学』15/2, pp.1-8.
- 新村秀一 (2002a) 「IP-OLDFによる最適凸体の内点の探索：アルゴリズムの改善」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』16, pp.87-90.
- 新村秀一 (2002b) 「丸山ワクチン15万症例のデータマイニング」, 『第29回日本行動計量学会論文集』, pp.58-61.
- 新村秀一 (2002c) 「IP-OLDFと決定木分析との比較」, 『第16回日本計算機統計学会論文集』, pp.64-67.
- 新村秀一, 飯田和美, 平井敏之 (2001) 「丸山ワクチン15万症例の決定木分析による分析」, 『日本計算機統計学会大会』15, pp.109-110.
- 新村秀一 (2001a) 「いかに研究成果を普及するか (日本計算機統計学会・第12回シンポジウム報告)」, 『計算機統計学』12/1, pp.69-70.

- 新村秀一 (2000)「丸山ワクチン投与15万症例の分析」,『データマイニングシンポジウム論文集』, pp.7-16.
- 新村秀一, 垂水共之 (1999)「乱数データを用いた最適線形判別関数 (IP-OLDF) の評価」,『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』13, pp.2-5.
- 新村秀一 (1999a)「新しい時代の統計教育への提案 (第1回 オンラインパネルディスカッション: 統計教育はこれでいいのか!?: 新しい教育環境における計算機統計)」,『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』13, pp.74-77.
- 新村秀一 (1999b)「最適線形判別分析 (第12回日本計算機統計学会大会報告)」,『計算機統計学』11/2, pp.63-67.
- 新村秀一 (1999c)「数理計画法を用いた最適線形判別関数」,『計算機統計学』11/2, pp.89-101.
- 新村秀一 (1999d)「21世紀への新しい統計教育 (データの科学) の提案」,『私情協ジャーナル FALL』8/2, pp.2-3.
- 新村秀一, 垂水共之 (1999a)「Speakeasyによる統計と数学教育への提言 (第13回日本計算機統計学会大会報告)」,『計算機統計学(13)』, pp.40-43.
- 新村秀一, 垂水共之 (1999b)「乱数データを用いた最適線形判別関数 (IP-OLDF) の評価」,『第13回日本計算機統計シンポジウム論文集』, pp.40-41.
- 新村秀一, 垂水共之 (1999c)「2変量正規乱数データによるIP-OLDFの評価」,『計算機統計学. 12/2』, pp.107-123.
- 新村秀一, 垂水共之 (1998)「乱数データを用いた最適判別関数の評価(1)」,『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』12, pp.53-56.
- 新村秀一 (1998a)「最適線形判別関数」,『第12回日本計算機統計学会論文集』12, pp.63-66.
- 新村秀一 (1998b)「いかに研究成果を普及するか」,『第12回日本計算機統計シンポジウム論文集』12, pp.75-78.
- 新村秀一 (1998c)「日本における統計ソフトの過去・現在・未来」,『第9回日本計算機統計学会シンポジウム特別テーマ総合報告』10/1, pp.37-61.
- 新村秀一 (1997a)「第9回日本計算機統計学会シンポジウム報告」,『計算機統計学』9/1, pp.81-85.
- 新村秀一 (1997b)「データ解析からデータ・サイエンスへー情報技術 (統計ソフト・WWW・AI) との共生により統計知識を国民の知的共有財に一」,『統計数理』45-1, pp.23-40
- 新村秀一 (1995)「統計パッケージの最近の展開」,『大分統計学会チュートリアル・セミナー予稿集』, pp.17-20.
- 新村秀一 (1994)「第9回日本計算機統計学会シンポジウム開催に際して」,『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』9, pp.7-16.

- 新村秀一 (1992a) 「Speakeasyの統計ライブラリー (日本計算機統計学会第6回大会報告)」, 『計算機統計学』 5/2, pp.180-181.
- 新村秀一 (1992b) 「汎用オブジェクト処理言語: Speakeasyの紹介 (統計データ解析の新展開 (2)) (第5回日本計算機統計学会シンポジウム報告)」, 『計算機統計学』 5/1
- 新村秀一 (1992c) 「Speakeasyの統計ライブラリー」, 『日本計算機統計学会大会論文集』 6, pp.30-33.
- 新村秀一 (1991a) 「汎用オブジェクト処理言語Speakeasyの紹介」, 『日本計算機統計学会シンポジウム論文集』 2/5, pp.57-60.
- 新村秀一 (1991b) 「統計をとりまく最近の動向 (日本計算機統計学会第4回大会報告)」, 『計算機統計学』 4/1.
- 新村秀一 (1991c) 「Speakeasyによるアプリケーション開発」, 『第5回日本計算機統計シンポジウム論文集』 5, pp.57-60.

2. 日本OR学会

- 江頭舞, 新村秀一 (2013) 「東京都公立図書館のDEA分析 (2)」, 『OR学会DEA研究部会学生発表会』.
- 黒岩秋江, 新村秀一 (2013) 「東京都の区と市の公立図書館のDEA分析」, 『OR学会DEA研究部会学生発表会』, pp.1-14.
- 新村秀一 (2006) 「改定IP-OLDFによるSVMのアルゴリズム研究」, 『オペレーションズ・リサーチ』 51/11, pp.702-707.
- 新村秀一 (2002a) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数 (1)」, 『オペレーションズ・リサーチ』, pp.47/1, 38-45
- 新村秀一 (2002b) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数 (2)」, 『オペレーションズ・リサーチ』, pp.47/2, 109-113
- 新村秀一 (2002c) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数 (3)」, 『オペレーションズ・リサーチ』, 47/3, pp.172-185.
- 新村秀一 (2002d) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数 (4)」, 『オペレーションズ・リサーチ』 4/4, pp.244-250.
- 新村秀一 (2002e) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数 (5)」, 『オペレーションズ・リサーチ』 47/5, pp.315-321.
- 新村秀一 (1994) 「統計パッケージ考—情報処理教育と産業—」, 『オペレーションズ・リサーチ』 39/11, pp.596-600.
- 新村秀一 (1993) 「数理計画法のパッケージ, 中間言語, ライブラリー」, 『オペレーションズ・

- リサーチ』 38/3, pp.112-130.
- 新村秀一 (1988a) 「データ解析に見るグラフ」, 『オペレーションズ・リサーチ』 38/4, pp.172-177.
- 新村秀一 (1988b) 「特集に当って (〈特集〉多目的意思決定)」, 『オペレーションズ・リサーチ』 33/8.
- 新村秀一 (1986) 「科学万博データの解析」, 『オペレーションズ・リサーチ』 30/12, pp.754-766.
- 新村秀一 (1985) 「医学における診断とは一枝分かれからAIへ」, 『オペレーションズ・リサーチ』 30/8, pp.501-507.
- 新村秀一 (1984) 「医療データ解析, モデル主義, そしてOR」, 『オペレーションズ・リサーチ』 29/7, pp.415-421.
- 新村秀一 (1983a) 「行列表現による重回帰分析(1)」, 『オペレーションズ・リサーチ』 28/9, pp.439-445.
- 新村秀一 (1983b) 「行列表現による重回帰分析(2)」, 『オペレーションズ・リサーチ』 28/10, pp.506-512.
- 新村秀一 (1983c) 「重回帰分析におけるモデル決定」, 『オペレーションズ・リサーチ』 28/12, pp.620-626.
- 新村秀一 (1983d) 「特集にあたって (〈特集〉ORソフト 数理計画)」, 『オペレーションズ・リサーチ: 経営の科学』 38/3.
- 新村秀一 (1983e) 「重回帰分析における掃出し演算子」, 『オペレーションズ・リサーチ』 28/11, pp.565-569.
- 新村秀一 (1983f) 「重回帰分析におけるモデル決定」, 『オペレーションズ・リサーチ』 28/12, pp.620-626.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1981) 「胃X線像の各種判別分析」, 『オペレーションズ・リサーチ』 26/1, pp.51-60.

3. SAS ユーザー会, 日経コンピュータ, その他

- 新村秀一 (1991) 「DSS (意思決定支援システム) の4つのエンドユーザー言語—ダウンサイジング時代のアプリケーション開発—」, 『日経コンピュータ』 11/4, pp.171-186.
- 新村秀一 (2015a) 「JMPとLINGOによる「問題解決型ゼミ」の考察」, 『SASユーザー会』, pp.248-256.
- 新村秀一 (2015b) 「いかに研究成果を世界に発信するか—判別分析の4つの問題と新事実—」, 『SASユーザー会』, pp.484-493.

- 新村秀一 (2014) 「東京都23区の公立図書館の比較評価—DEAと統計の共生—」, 『SASユーザー会』, pp.431-448.
- 新村秀一 (2013a) 「小標本のための100重交差検証法」, 『SASユーザー会』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2013b) 「統計教育と統計ソフトの共生」, 『SASユーザー会』, pp.1-10.
- 新村秀一 (2012a) 「コラム「SAS/JMPとの歩み」」, 『SAS Technical News, 春, 夏, 秋, 冬号掲載』
- 新村秀一 (2012b) 「Fisherの判別分析を超えて」, 『SASユーザー会』, pp.1-10.
- 市川均, 針生伸一, 新村秀一 (1989) 「ミニコンピュータとパーソナルコンピュータ間のマイクログメインフレームリンク環境におけるSASの利用」, 『SASユーザー会』, pp.429-432.
- 新村秀一, 荻部晃一 (1989) 「SASを中心とする金融情報分析支援システム」, 『SASユーザー会』, pp.207-210.
- 岡田麻弓, 市川均, 新村秀一 (1989) 「SASを中心とした医薬品開発総合支援システムについて」, 『SASユーザー会』, pp.53-56.
- 新村秀一, 市川均 (1988) 「SAS - PhaseIV (第4層比較臨床試験)」, 『SASユーザー会』, pp.51-56.
- 新村秀一 (1985) 「回帰分析における変数選択—実験計画の応用—」, 『SASユーザー会』, pp.25-36.
- 新村秀一 (1984) 「NLINの問題提起」, 『SASユーザー会』, pp.1-18.
- 新村秀一, 鈴木隆一朗, 小山博樹, 中西克己 (1983) 「各種判別手法を用いた医療データ解析の標準化」, 『SASユーザー会』, pp.25-34.

4. その他の学会 (品質管理, 情報処理, 日本ME学会, 医療情報学会) など

- 伊藤和憲, 伊藤克容, 新村秀一, 櫻井通晴 (2012) 「Analysis of Survey Results on Reputation Management - With the Primary Objective of Investigation through Empirical Research -」, 『専修大学会計学研究所』 38, pp.21-78.
- 櫻井通晴, 伊藤和憲, 伊藤克容, 新村秀一 (2012) 「コーポレート・レピュテーションの企業価値への影響: 実証研究の結果にもとづいて」, 『専修マネジメント・ジャーナル』 2/2, pp.31-43.
- 新村秀一 (2000) 「丸山ワクチン投与15万症例の分析」, 『データマイニングシンポジウム論文集』, pp.7-16.
- 新村秀一 (1987) 「体験に基づく汎用統計パッケージの紹介」, 『品質』, 17/3, pp.261-268.
- 新村秀一, 飯田和美, 丸山千里 (1987) 「SSM (人型結核菌体抽出物質, 丸山ワクチン) の癌治療における帰無仮説モデルによる評価」, 『医療情報学』, 7/3, pp.263-276.
- 新村秀一, 飯田和美, 三宅章彦, 岩城弘子, 丸山千里 (1985) 「SSM (丸山ワクチン) の癌治

- 療における統計的評価 (2)], 『第5回医療尾情報学連合大会論文集』, pp.623-626.
- 新村秀一, 飯田和美, 三宅章彦, 岩城弘子, 丸山千里 (1985)「SSM (丸山ワクチン) の癌治療における統計的評価の追跡調査
- 新村秀一, 飯田和美, 三宅章彦, 岩城弘子, 丸山千里 (1984)「SSM (丸山ワクチン) の癌治療における統計的評価」, 『第4回医療情報連合大会論文集』, pp. 614-619 .
- 河村進市, 服部康夫, 三宅章彦, 新村秀一 (1984)「頭部外傷による難聴 (平均聴力損失) の尤度法による判別」, 『日本災害医学会会誌』 32/3, pp.231-215.
- 新村秀一 (1984)「中川, 小柳「非線形最小二乗法のソフトウェア」についての討論— SAS の評価について」, 『情報処理』 25/7, pp.697-707.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1983)「各種判別手法を用いた医療データ解析の標準化—マンモグラフィによる乳癌の診断—」, 『医療情報学』 3/2, pp.38-50.
- 新村秀一, 三宅章彦 (1983)「重回帰分析と判別解析のモデル決定 (1) —19変数をもつC.P.Dデータの多重共線性の解消—」, 『医療情報学』 3/3, pp.107-124.
- 河村進市, 三宅章彦, 新村秀一 (1983a)「頭部外傷による難聴の数量化理論第II類による検討」, 『日本災害医学会会誌』 31/1, pp.69-75.
- 河村進市, 三宅章彦, 新村秀一 (1983b)「頭部外傷後聴覚障害のFUNCATによる解析—第一報 自覚難聴—」, 『日本災害医学会会誌』 31/3, pp.220-223.
- 河村進市, 三宅章彦, 新村秀一 (1983c)「頭部外傷後聴覚障害の (難聴, 耳鳴) のクロス集計による検討」, 『日本災害医学会会誌』 31/8, pp.516-519
- 河村進市, 服部康夫, 三宅章彦, 新村秀一 (1983)「頭部外傷後聴覚障害のFUNCATによる解析 (第二報) 平均聴力損失」, 『日本災害医学会会誌』 31/9, pp.575-578.
- 河村進市, 弓削庫太, 三宅章彦, 新村秀一 (1982)「頭部外傷後遺症と聴覚障害 (難聴, 耳鳴) との相互関係の解析 (第六報)」, 『AUDIOLOGY』 25/5, pp.571-572.
- 河村進市, 弓削庫太, 三宅章彦, 新村秀一 (1982)「頭部外傷後遺症と聴覚障害 (難聴, 耳鳴) との相互関係の解析 (第三報) 数量化理論第III類による検討」, 『AUDIOLOGY Japan』 25/4, pp.223-230.
- 河村進市, 三宅章彦, 新村秀一 (1981)「頭部外傷による聴覚障害の因子分析」, 『日本医事新報 2978』, pp.46-50.
- 河村進市, 弓削庫太, 三宅章彦, 新村秀一 (1981). 頭部外傷後遺症と聴覚障害 (難聴, 耳鳴) との相互関係の解析 (第五報)」, 『AUDIOLOGY』 24/5, pp.539-540.
- 三宅章彦, 新村秀一 (1980)「最適線形判別関数のアルゴリズムとその応用」, 『医用電子と生体工学』 18/1, pp.15-20.
- 新村秀一 (1980)「丹後論文に対する質問」, 『医用電子と生体工学』 18/6, pp.455-456

- 野村裕, 新村秀一 (1979)「急性心筋梗塞の予後」, 『医学のあゆみ』 110/13, pp.871-878.
- 川村昇, 新村秀一, 開原成こと (1979)「医学データ解析のための統計プログラムパッケージ」, 『医学のあゆみ, 109/11』, pp.620-626.
- 野村裕, 新村秀一, 戸山靖一 (1878)「急性期心筋梗塞の予後推定」, 『最新医学』 33/1, pp.130-131.
- 平岡力, 橋本知治, 栄桂子, 梅田勝彦, 大島明, 新村秀一 (1977)「自覚症状の組み合わせによる胃がん判別の限界」, 『癌の臨床』 23/14, pp.1321-1327.
- 新村秀一, 清水忠彦 (1977)「自己回帰モデルによる汚染質濃度のスペクトル解析について」, 『大気汚染研究』 12/2, pp.59-70.
- 野村裕, 宮川定吉, 若杉茂俊, 戸山靖一, 新村秀一 (1976)「臨床時系列データの解析」, 『医用電子と生体工学』 14/3, pp.207-213.
- 清水忠彦, 常俊義三, 河野洋, 新村秀一 (1975)「光化学スモッグによる自覚症状の分類」, 『大気汚染研究』 9/4, pp.734-741.

5. 大学紀要

- 新村秀一 (2017)「R.A.Fisher 以後の判別分析の新理論 (2) —Alon 他 のマイクロアレイデータの 64 個の癌の SM の検証—」, 『成蹊大学経済学部論集』 47/1, PP.
- 新村秀一 (2016a)「R.A.Fisher 以後の判別分析の新理論 (1) —遺伝子解析の新手法 2 (LINGO Program3) の検証—」, 『成蹊大学経済学部論集』 47/2, PP. 43-77
- 新村秀一 (2016b)「判別分析の新理論と遺伝子解析のための新手法 2」, 『成蹊大学経済学部論集』 47/1, PP. 43-77
- 新村秀一 (2015)「『問題解決型授業』の考察—ゼミ学生の企業分析と就活支援—」, 『成蹊大学経済学部論集』 46/1, pp.37-88.
- 新村秀一 (2014a)「日本の金融機関 20 行の分析—DEA と統計分析の標準化—」, 『成蹊大学経済学部論集』 45/1, pp.33-69.
- 新村秀一 (2014b)「DEA の分析結果の統計による検討 (1) —47 都道府県の滞在型観光の分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 45/2, pp.1-26.
- 黒岩亜紀江, 新村秀一 (2013)「東京都 24 市の公立図書館の DEA 分析」, 『2012 年度卒業研究』, pp.1-16
- 新村秀一 (2013a)「DEA 利用のための実践的な解説書」, 『成蹊大学経済学部論集』 44/1, pp.15-41.
- 新村秀一 (2013b)「製品の価格性能比の考察—日本車 44 車種の DEA 法と統計手法による分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 44/2, pp.1-30.

- 新村秀一 (2012) 「最適線形判別関数の応用 (3) —2010年から2012年の統計入門の総括—」, 『成蹊大学経済学部論集』 43/2, pp.1-32.
- 新村秀一 (2012) 「経営効率性による企業と大学の評価 (1) —DEA 普及のための方策1—」, 『成蹊大学経済学部論集』 43/1, pp.51-82.
- 新村秀一 (2011a) 「最適線形判別関数の応用 (2) —2011年度の統計入門の分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 42/2, pp.1-38.
- 新村秀一 (2011b) 「最適線形判別関数の応用 (1) —2010年度統計入門中間試験データの分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 42/1, pp.37-62.
- 新村秀一 (2011c) 「試験の合否判定データの最適線形判別関数による分析」, 『成蹊大学一般研究報告』 45/3, pp.1-37.
- 新村秀一 (2011d) 「DEAによる回帰型データのクラスター分析」, 『成蹊大学一般研究報告』 45/3, pp.1-37.
- 新村秀一 (2011e) 「試験の合否判定データの最適線形判別関数による分析」, 『成蹊大学一般研究報告』 45/3, pp.1-37.
- 新村秀一 (2011f) 「DEAによる回帰型データのクラスター分析」, 『成蹊大学一般研究報告』 45/3, pp.1-37.
- 新村秀一 (2010a) 「Fisherの線形判別関数を越えて」, 『成蹊大学経済学部論集』 41/1, pp.101-138.
- 新村秀一 (2010b) 「OLDFとSVMの比較研究 (11) —ソフトマージン最大化SVMの考察—」, 『成蹊大学経済学部論集』 41/2, pp.31-59.
- 新村秀一 (2010c) 「マークシート試験によるFDの一提案」, 『成蹊大学一般研究報告』 44/4, pp.1-26.
- 新村秀一 (2010d) 「試験の合否判定データの最適線形判別関数による分析」, 『成蹊大学一般研究報告』 44/5, pp.1-44.
- 新村秀一 (2009a) 「OLDFとSVMの比較研究 (10) —k重交差検証法による新しい変数選択法—」, 『成蹊大学経済学部論集』 40/2, pp.67-119.
- 新村秀一 (2009b) 「OLDFとSVMの比較研究 (9) —2万件リサンプリングデータによる10重交差検証法—」, 『成蹊大学経済学部論集』 40/1, pp.21-72.
- 新村秀一 (2009c) 「OLDFとSVMの比較研究 (8) —改訂IP-OLDFのリサンプリングデータによる評価—」, 『成蹊大学経済学部論集』 39/2, pp.53-78.
- 新村秀一 (2009d) 「数学のできる問題解決学」, 『成蹊大学一般研究報告』 42/4, pp.1-52.
- 新村秀一 (2008a) 「OLDFとSVMの比較研究 (7) —IP-OLDFによる線形判別関数の新しいモデル選択法の提案—」, 『成蹊大学経済学部論集』 39/1, pp.35-56.

- 新村秀一 (2008b) 「OLDFとSVMの比較研究(6) —LINGOによる改訂IP-OLDFと改訂IPLP-OLDFの比較—」, 『成蹊大学経済学部論集』 38/2, pp.111-154.
- 新村秀一 (2007a) 「OLDFとSVMの比較研究(5) —高速な組み合わせ最適化アルゴリズムの提案—」, 『成蹊大学経済学部論集』 38/1, pp.127-143.
- 新村秀一, 尹禮分 (2007b) 「OLDFとSVMの比較研究(4) —種々のデータによるSVMとの比較—」, 『成蹊大学経済学部論集』 37/2, pp.89-119.
- 新村秀一 (2007) 「OLDFとSVMの比較研究(3) —SVMのアルゴリズムの提案—」, 『成蹊大学経済学部論集』 37/1, pp.85-106.
- 新村秀一 (2006) 「OLDFとSVMの比較研究(2) —改定IP-OLDFと改定LP-OLDFの提案—」, 『成蹊大学経済学部論集』 36/2, pp.13-34.
- 新村秀一 (2005a) 「OLDFとSVMの比較研究(1) —スイス銀行紙幣データと同じ構造をもつ2万件の正規乱数データによる検証—」, 『成蹊大学経済学部論集』 36/1, pp.63-92.
- 新村秀一 (2005b) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(10) —多重共線性の解消とIP-OLDFの評価—」, 『成蹊大学経済学部論集』 35/2, pp.19-38.
- 新村秀一 (2004) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(9) —1000スイスフラン偽札紙幣の分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 35/1, pp.87-112.
- 新村秀一 (2004) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(8) —524,287個の回帰モデルの検討—」, 『成蹊大学経済学部論集』 34/2, pp.53-70.
- 新村秀一 (2003) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(7) —計算機速度の劇的な改善」, 『成蹊大学経済学部論集』 33/2, pp.183-188.
- 新村秀一 (2002) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(6) —アルゴリズムの改善—」, 『成蹊大学経済学部論集』 33/1, pp.93-114.
- 新村秀一 (2002) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(5) —決定木分析との比較—」, 『成蹊大学経済学部論集』 32/2, pp.299-314.
- 新村秀一 (2001) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(4) —2変量正規乱数データによるIP-OLDFの評価—」, 『成蹊大学経済学部論集』 32/1, pp.249-273.
- 新村秀一 (2001) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(3) —多重共線性のある医学データの分析—」, 『成蹊大学経済学部論集』 31/2, pp.207-236.
- 新村秀一 (2000) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(2) —アイリスデータへの適用—」, 『成蹊大学経済学部論集』 31/1/1 31/1, pp.297-313.
- 新村秀一 (2000) 「数理計画法を用いた最適線形判別関数(1)」, 『成蹊大学経済学部論集』 30/2, pp.193-215.
- 新村秀一 (1998) 「ゼミ学生による相互評価データを用いた解析手順の標準化」, 『成蹊大学経

経済学部論集』29/1, pp.231-252.

新村秀一 (1997)「経済学部における統計基礎教育に関する提言(1) —グラフによる基本統計と相関の再編」, 『成蹊大学経済学部論集』28/1, pp.115-147.

新村秀一 (1996)「重回帰分析と判別分析のモデル決定(2) —19変数を持つC.P.D.データのモデル決定—」, 『成蹊大学経済学部論集』27/1, pp.180-203.

6. 学会発表

6.1 日本OR学会

新村秀一 (2013a)「統計的判別分析の終焉(1) —最適線形判別関数の理論と検証の概略—」, 『2013年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』

新村秀一 (2013b)「統計的判別分析の終焉(2) —最適線形判別関数の応用：合否判定できない判別分析の問題—」, 『2013年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』

黒岩秋江, 新村秀一 (2013)「東京都の区と市の公立図書館のDEA分析」, 『OR学会DEA研究部会学生発表会』

江頭舞, 新村秀一 (2013)「東京都公立図書館のDEA分析(2)」, 『OR学会DEA研究部会学生発表会』

新村秀一 (2012a)「東日本大震災への提言」, 『2012年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』, pp.136-136.

新村秀一 (2012b)「DEA普及のための提言」, 『2012年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』, pp.148-149.

新村秀一 (2012c)「Fisherの判別分析を超えて(2) —大学入試センター105試験データの合否判定—」, 『2012年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』, pp.176-177.

新村秀一 (2012d)「昭和61年(1986)と平成23年(2011)の東京都の区立図書館の比較評価」, 『2012年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』 新村秀一 (2011)「中間管理職の意識改革と業務改善のためのDEA」, 『2011年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.232-233.

新村秀一 (2011)「Fisherの判別分析を超えて(1)」, 『2011年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.254-255.

新村秀一 (2011)「試験の合否判定の判別分析」, 『2011年日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.

新村秀一 (2007)「SVMの新アルゴリズムの提案」, 『2007年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』, pp.192-193.

- 新村秀一, 尹禮分 (2007) 「種々のデータによる改定IP-OLDF, SVM, 判別手法の比較研究」, 『2007年日本オペレーションズ・リサーチ学会春季研究発表会』, pp.184-185.
- 新村秀一 (2005) 「整数計画法による判別分析の新世紀—1000スイスフラン偽札紙幣の分析—」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会2005年春季研究発表会』, pp.118-119.
- 新村秀一 (2005) 「従来の整数計画法による判別モデル研究に対する批判」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会2005年春季研究発表会』, pp.120-121.
- 新村秀樹, 新村秀一 (2002) 「決定木分析のモデル選択に関する考察(3)」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会春季アブストラクト集』, pp.70-71.
- 新村秀樹, 新村秀一 (2002) 「決定木分析のモデル選択に関する考察(1)」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会春季アブストラクト集』, pp.142-143.
- 新村秀樹, 新村秀一 (2002) 「決定木分析のモデル選択に関する考察(2)」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季アブストラクト集』, pp.
- 新村秀一 (2002) 「丸山ワクチン15万症例のデータマイニング」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季アブストラクト集』, pp.174-175.
- 新村秀一 (1999) 「整数計画法を用いた最適線形判別関数 (OLDF)」, 『1999年度日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.38-39.
- 新村秀一 (1999) 「Speakedsyによる数学やOR教育への提言」, 『1999年度日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.
- 新村秀一 (1999) 「乱数データを用いた最適線形判別関数の評価」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.40-41.
- 新村秀一 (1998) 「整数計画法による最適線形判別関数」, 『1998年度日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会』, pp.144-145.
- 新村秀一 (1984) 「LINDOを用いた線形回帰分析例」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.13-14.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1984) 「未検査データを含む検査成績の評価」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.201-202.
- 新村秀一 (1983) 「多重共線性の解消とその影響」, 『日本オペレーションズ・リサーチ学会春期研究発表会アブストラクト集』, pp.156-157.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1982) 「映像診断技法の選考順位の決定」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.109-110.
- 新村秀一 (1982a) 「統計的線形モデルのモデル決定(1)」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.156-157.
- 新村秀一 (1982b) 「統計的線形モデルのモデル決定(2) —実験計画法の応用—」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.156-157.

表会アブストラクト集』, pp.138-139.

新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1981) 「各種判別手法の比較評価」, 『春期研究発表会アブストラクト集』 pp.199-200.

新村秀一 (1981) 「数量化の新しい潮流—SASのFUNCATについて—」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.186-187.

新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1981) 「乳房X線像の判別分析—FUNCATの適用事例—」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.188-189.

新村秀一 (1981) 「受注生産計画へのAIの応用」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.

新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1980) 「判別関数族のデータの分布上におけるスペクトラム」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.110-111.

新村秀一 (1980) 「直交表を用いた重回帰分析の変数選択」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.112-113.

新村秀一, 三宅章彦 (1980) 「SASによるO.L.D.F.のコーディング例 (MATRIXプロセジャーを用いて)」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.42-43.

新村秀一, 三宅章彦, 鈴木正勝 (1979) 「多変量解析における変数選択問題に関する—考察」, 『春期研究発表会アブストラクト集』, pp.67-68.

6.2 計算機統計学会

新村秀一 (2014) 「小標本のためのK重交差検証法」, 『日本計算機統計学会第28回大会論文集』, pp.147-150.

新村秀一 (2013) 「数理計画法による線形判別関数の評価」, 『日本計算機統計学会第21回記念大会論文集』, pp.

新村秀一 (2012) 「2010年と2011年の統計入門の合否判定問題」, 『日本計算機統計学会第26回大会講演論文集』, pp.141-144.

財城真寿美, 新村秀一 (2012) 「環境と科学試験データの合否判定」, 『日本計算機統計学会第26回シンポジウム』, pp.59-62.

黒岩秋江, 新村秀一 (2012) 「東京都公立図書館のDEA分析 (1)」, 『日本計算機統計学会第26回シンポジウム』, pp.69-72.

新村秀一 (2012) 「大学教育における統計家の役割」, 『日本計算機統計学会』, pp.

新村秀一 (2011) 「合否判定できない判別分析の問題点」, 『日本計算機統計学会第25回大会講演論文集』, pp.55-59.

新村秀一 (2008) 「改定IP-OLDFのリサンプリングデータによる評価」, 『日本計算機統計学会第22回シンポジウム』, pp.

- 新村秀一 (2006) 「改定IP-OLDFによる2万件データのExternal Check」, 『日本計算機統計学会第20回記念大会論文集』, pp.11-14.
- 新村秀一 (2006) 「SVMのアルゴリズムの秘密」, 『日本計算機統計学会第20回シンポジウム論文集』, pp.133-136
- 新村秀一 (2005) 「IP-OLDFの判別分析への新しい貢献」, 『第19回日本計算機統計学会論文集』, pp.21-24.
- 新村秀一 (2004) 「組み合わせ判別分析の提案—1000スイスフラン偽札紙幣の分析—」, 『日本計算機統計学会第18回シンポジウム論文集』, pp.87-90.
- 新村秀一 (2007) 「SVMの高速な新アルゴリズムの提案」, 『日本計算機統計学会第21回記念大会論文集』, pp.121-124.
- 新村秀一 (2003) 「数理計画法を用いた線形判別関数の新アルゴリズム—計算機速度の激的な改善—」, 『日本計算機統計学会第17回大会論文集』, pp.97-100.
- 新村秀一 (2002) 「IP-OLDFと決定木分析との比較」, 『第16回日本計算機統計学会論文集』, pp.64-67.
- 新村秀一 (2002) 「Speakeasyによる統計と数学教育への提言」, 『第13回日本計算機統計学会論文集 (1999)』, pp.40-43.
- 新村秀一 (2002) 「丸山ワクチン15万症例の決定木による分析」, 『第12回日本計算機統計学会論文集』, pp.109-110.
- 新村秀一 (1999) 「乱数データを用いた最適線形判別関数 (OLDF) の評価」, 『第13回日本計算機統計シンポジウム論文集』, pp.40-41.
- 新村秀一, 垂水共之 (1998) 「乱数データを用いた最適線形判別関数の評価 (1)」, 『日本計算機統計学会第12回シンポジウム論文集』, pp.53-56.
- 新村秀一 (1998) 「最適判別関数」, 『第12回日本計算機統計学会論文集』, pp.63-67.
- 新村秀一 (1998) 「いかに研究成果を普及するか」, 『第12回日本計算機統計シンポジウム論文集』, pp.75-78.
- 新村秀一 (1995) 「第9回日本計算機統計学会シンポジウム開催に際して」, 『第9回日本計算機統計学会シンポジウム論文集』, pp.7-16.
- 新村秀一 (1991) 「Speakeasyによるアプリケーション開発」, 『第5回日本計算機統計シンポジウム論文集』, pp.57-60.

6.3 行動計量学会とその他

- 新村秀一 (2011) 「最適線形判別関数の理論」, 『行動計量学会第39回大会抄録集特別セッション—判別分析の新潮流 (1)』, pp.419-422.

- 新村秀一 (2011) 「最適線形判別関数の理論」, 『行動計量学会第39回大会抄録集特別セッション—判別分析の新潮流(2)』, pp.423-426.
- 新村秀一 (2002) 「21世紀の統計教育」, 『数学教育学会春季年会論文集』, pp.
- 新村秀一 (2002) 「経済学部での統計教育」, 『数学教育学会秋季年会論文集』, pp.
- 新村秀一 (2002) 「丸山ワクチン15万症例のデータマイニング」, 『第29回日本行動計量学会論文集』, pp.58-61.
- 新村秀一 (1999) 「21世紀への新しい統計教育(データの科学)の提案」, 『私情協ジャーナル FALL8/2』, pp.2-3.
- 新村秀一 (1998) 「最適線形判別関数によるモデル決定」, 『日本行動計量学会第26回大会発表論文抄録集』, pp.263-266.
- 新村秀一 (1998) 「最適判別関数(2)」, 『第66回日本統計学会大会』, pp.165-166.
- 新村秀一 (1996) 「統計ソフトと情報リテラシー」, 『第64回日本統計学会講演報告集』, pp.58-59.
- 新村秀一 (1995) 「統計パッケージの最近の展開, 1995年度統計学会チュートリアル・セミナー予稿集」, pp.17-20.
- 新村秀一 (1995) 「パソコンソフトによる知力革命—「What's Best!」を使った数理計画法」, 『The Windows』 5/8』, pp.170-172.
- 新村秀一 (1994) 「Mathematicaによる統計的データ解析へのアプローチ」, 『Mathematicaユーザー会第2回ワークショップTokyo1994講演予稿集』, pp.80-89.
- 新村秀一 (1991) 「アプリケーション開発のためのエンド・ユーザー言語「EXSYS」」, 『事務と経営』 43/543, pp.7-9.
- 新村秀一 (1999) 「乱数データによる最適線形判別関数の評価」, 『第67回日本統計学会講演報告集』, pp.166-167.
- 新村秀一 (1990) 「機械の故障診断システムEDMSの紹介」, 『コージェネレーション』, pp.53-58.
- 新村秀一 (1990) 「EXSYSプロフェッショナルVer.2によるエキスパートシステムの開発」, 『Turing Machine』 3/6』, pp.62-79.
- 新村秀一 (1990) 「海外におけるAIアプリケーションの動向」, 『Inter AI』 17』, pp.41-49.
- 新村秀一 (1990) 「EXSYSプロフェッショナルVer.2によるエキスパートシステムの開発」, 『コンピュータ・シミュレーション』 1/4, pp.46-49.
- 新村秀一 (1990) 「汎用オブジェクト処理言語Speakeasyの紹介」, 『コンピュータ・シミュレーション』 2-3, pp.72-76.
- 新村秀一 (1987) 「新しい高級言語の風SAS・1—SAS開発の背景—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/1, pp.122-125.
- 新村秀一 (1987) 「新しい高級言語の風SAS・2—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/2,

pp.

- 新村秀一 (1987)「新しい高級言語の風SAS・3—簡単なSASジョブ—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/3, pp.133-136.
- 新村秀一 (1987)「新しい高級言語の風SAS・4—データ解析について—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/4, pp.140-143.
- 新村秀一 (1987)「新しい高級言語の風SAS・5—SAS言語の重層構造—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/5, pp.135-139.
- 新村秀一 (1987)「新しい高級言語の風SAS・6—SAS/本体のプロセジャーについて—」, 『ビジネスコミュニケーション』 24/6, pp.108-112.
- 新村秀一, 海野秀穂 (1986)「限りなくAIに近づいたソフトウェア—エキスパート・チョイス—」, 『ソフトウェア流通』, pp.63-67
- 飯田和美, 丸山千里, 新村秀一 (1985)「SSM (丸山ワクチン) の癌治療における統計的評価の追跡調査」, 『第5回医療情報連合大会論文集』, pp.619-622.
- 新村秀一, 飯田和美, 三宅章彦, 岩城弘子, 丸山千里 (1985)「SSM (丸山ワクチン) の癌治療における統計的評価 (2)」, 『第5回医療情報連合大会論文集』, pp.623-626.
- 新村秀一 (1985)「DSSとOAのためのLINDO (Linear Interactive and Discrete Optimizer)」, 『ソフトウェア流通』, pp.62-66.
- 新村秀一, 青沼龍雄 (1985)「DSSとOAのための汎用ソフトウェア—GINO」, 『ソフトウェア流通』 23, pp.53-57.
- 新村秀一, 真鍋龍太郎 (1985)「表計算型言語の最適化ソフトウェア—VINO」, 『ソフトウェア流通』 24, pp.72-76.
- 小島政和, 新村秀一 (1985)「科学技術レポートを書くためのソフトウェア—TRP」, 『ソフトウェア流通』 25, pp.69-73.
- 新村秀一 (1985)「アメリカから吹き寄せる新しい高級言語の風SAS」, 『ソフトウェア流通』 28, pp.54-58.
- 新村秀一, 牧山則人 (1985)「会話型数理計画法パッケージLINDOとGINOは, 新しい世界を開く」, 『DECUS論文集』, pp.43-54
- 新村秀一, 飯田和美, 岩城弘子, 丸山千里, 三宅章彦 (1984)「SSM (丸山ワクチン) の癌治療における統計的評価」, 『第4回医療情報連合大会論文集』, pp.614-619.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 小山博記, 中山克己 (1982)「計量診断における各種判別手法の比較検討」, 『第2回医療情報連合大会論文集』, pp.151-154.
- 新村秀一 (1981)「アメリカから吹き寄せる新しい高級言語の風—SASについて」, 『第8回日本MUG学術大会講演報告集』, pp.1-6.

- 新村秀一, 三宅章彦 (1980) 「最適線型判別関数 (O.L.D.F) の問題点」, 『日本行動計量学会総会発表論文抄録集』, pp.117-118.
- 新村秀一 (1980) 「統計解析システムSASの紹介—SAS言語を中心として—」, 『(社) 情報処理学会医療情報学研究会資料6-4』, pp.1-7.
- 新村秀一, 三宅章彦 (1979) 「多変量解析におけるOR的諸問題」, 『秋期研究発表会アブストラクト集』, pp.8-9
- 三宅章彦, 鈴木正勝, 新村秀一 (1979) 「最適線形判別関数のアルゴリズムの提案とC.P.Dデータの応用」, 『第18回日本ME学会大会論文集』, pp.722-723.
- 新村秀一, 三宅章彦 (1979) 「重回帰分析における変数選択問題」, 『日本行動計量学会総会発表論文抄録集』, pp.16-17.
- 鈴木隆一郎, 中西克己, 新村秀一 (1978) 「乳房X線像の計量診断 (その1)」, 『第17回日本ME学会大会論文集』, pp.
- 新村秀一, 三宅章彦 (1978) 「CPD (児頭骨盤不均衡) の判別分析—内部標本の誤分類数を最小とするアルゴリズムの提案」, 『日本行動計量学会総会発表論文抄録集』, pp.60-63.
- 新村秀一, 鈴木隆一郎, 中西克己 (1977) 「胃X線像の電算機診断の試み」, 『第16回日本ME学会大会論文集』, pp.300-301.
- 新村秀一, 平岡力, 橋本知治, 愛川幸平, 鈴木隆一郎 (1976) 「自覚症問診項目の統計的評価」, 『第15回日本ME学会大会論文集』, pp.28.
- 新村秀一, 野村裕 (1975) 「心筋梗塞の予後判定に関する一方策」, 『第14回日本ME学会大会論文集』, pp.319-320.
- 野村裕, 宮川定吉, 戸山靖一, 新村秀一 (1975) 「循環器疾患の予後判定関数の適用について」, 『日本ME学会関西支部例会』, pp.
- 新村秀一, 由谷聡至, 江口安治 (1975) 「自己回帰モデルによる汚染質の時系列解析」, 『第16回大気汚染研究全国協議会大会資料集』, pp.
- 新村秀一, 野村裕, 宮川定吉, 戸山靖一 (1975) 「循環器疾患の予後判定における判別関数の適用について」, 『日本ME学会関西支部例会』, pp.
- 新村秀一, 北川護, 野村裕 (1974) 「スペクトル診断 (第二報)」, 『第13回日本ME学会大会論文集』, pp.414-415.
- 新村秀一, 北川護, 高木義人, 野村裕 (1973) 「二段階重みづけによるスペクトル診断」, 『第12回日本ME学会大会論文集』, pp.107-108.